

日 本  
標 準 商 品 分 類

STANDARD COMMODITY CLASSIFICATION  
FOR JAPAN

第 I 卷  
VOLUME I

標準商品分類項目表

STANDARD CLASSIFIED LIST OF COMMODITIES

---

統計委員會商品分類專門部會編纂

PREPARED BY THE TECHNICAL COMMITTEE  
ON STANDARD COMMODITY CLASSIFICATION  
IN THE STATISTICS COMMISSION

1950年3月

MARCH, 1950

## 序

統計を眺めて見ると、商品に関するものが相當にある。農、鑛、工業の生産統計にしても、貿易統計にしても、輸送統計にしても、又家計統計にしても、商品に関するものがその中心である。これらのものが同一原則に基く體系によつて、分類表章されたならば、利用する上に非常に便利であらう。殊に國際性に強い統計にあつては、國內的に比較できるばかりでなく、廣く諸外國のものと比較できたならば、すばらしい効果があるといわねばならない。さきにこのためアメリカの指導によつて國際的標準に則つて、我が國の標準産業分類を作成して發表したことがある。

幸にこの商品分類についても、アメリカの指導を受けることになつて、この方面の専門家ソギー博士が、一昨年と昨年との二回に互つて來朝されたので、我が國朝野の専門家よりなる委員會を設けて作成したのが、この標準商品分類である。

時恰も 1950 年に當り、將に農業センサス、國勢調査、工業センサスの三大センサスが行われ、我が國統計に一新紀元を劃する秋である。これらの調査に間に會うよう勿々の際に作成したものである。それで今後商品分類に関する統計は、この標準分類そのままによるか、これと比較できるように、集約又は細分したものによるかにしたいと思ふので、完全とはいひ難いが、とりあえずここに印刷に附した次第である。

今後各方面の御協力によつてこれを育成し、更に一層完全なものにしたいと念願している。

和昭 25 年 3 月 20 日

統計委員會委員長 大 内 兵 衛

## 御 願 い

本標準商品分類について意見をもたれる方、又は商品項目の設け方、用語等に関して疑問をもたれる方は、下記あてに御問い合わせ下さい。本分類を改善發達させるために、皆様の御協力を御願ひ致します。

東京都千代田區三年町五番地

統計委員會事務局内 商品分類専門部會

電話 銀座(57) 5191-5 内線 355,356  
4181-6

# 目 次

緒 言	1
第一 標準商品分類作成要旨	1
第二 商品の範囲	5
第三 分類の原則	5
第四 分類の構成	7
第五 大分類の説明	8
分類表	9
第Ⅰ 中分類表	9
第Ⅱ 小分類表	17
第Ⅲ 細分類表	65